

令和 3 年

第 2 回（6 月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通 告 者	4 番 岡 村 達 馬 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 波佐見町の公共事業・施設について</p> <p>(1) 1 級町道は波佐見町と他市町を結ぶ、或いは県道を起終点とする町の幹線道路である。波佐見町の道路改良工事等は、道路網構想計画により進められていると思うが、特に産業や町民の福祉に最も寄与する 1 級（幹線）道路の整備状況は。</p> <p>また、今後の計画は。</p> <p>(2) 県道平瀬佐世保線、県道稗木場有田線の名称変更を検討すべきであると思うがどうか。</p> <p>(3) 西ノ原土地地区画整理事業の整備手法である換地先の整備工事計画は。</p> <p>(4) 鴻ノ巣公園運動施設を健康増進のため、町民の予約を優先するべきでは。</p> <p>2. 波佐見陶器まつりの総括について</p> <p>(1) 町の一大イベントである陶器まつりが本年も延期された。</p> <p>窯業界の損失とそれに伴う関連事業等への影響はどうか。</p> <p>(2) 県の要請による中止決定に至った経緯と対応は。</p> <p>(3) 今後、必要とされる多様な支援策と代替対策は。</p> <p>3. 子ども達を取り巻く情勢について</p> <p>(1) ヤングケアラーが社会問題化している。</p> <p>家事に追われて学校活動への不参加や、周期的に休む児童、生徒の把握は。</p> <p>子ども達と家庭への支援策は。</p>		

通告順位	2	通告者	7番 横山聖代 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 新型コロナに便乗した特殊詐欺や悪質商法被害の防止対策について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大によって生活様式が変わり、自宅で過ごす時間、ネットショッピングの利用も増えている。そこを狙っての電話やメール、ネットにより現金等を騙し取る特殊詐欺や悪質商法（以下「詐欺等」という。）が懸念される。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大によって生活が厳しくなっている中で、更に犯罪に遭って追い打ちをかけられるようなことがあってはならない。</p> <p>そこで、町民の安心安全を守るため、次のことを問う。</p> <p>(1) 詐欺等にはどのような種類があり、どのような対策をすればよいか。</p> <p>(2) 本町での詐欺等の相談件数は。</p> <p>(3) 本町にも専門の消費生活相談員を配置しているが、どのような業務をしているのか。</p> <p>2. 学校給食における食育と地産地消について</p> <p>学校給食とは、子ども達の健康の保持増進や、学校生活を豊かにし、明るい社交性・協同の精神を養うという目的がある。またそれに加え、家庭の経済的状況に左右されず、子ども達の発達と成長を保証するという役割も高まってきている。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 食育基本法では、「食」は子ども達が豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けるために何よりも重要とし、食育は「生きる上での基本であって、知育、徳育、体育の基礎をなすべきもの」と位置付けられている。町内小中学校における食育の考え方と具体的な取組み状況及び今後の課題は何か。</p> <p>(2) 学校給食の食材は、新鮮で安心安全な食材として地産地消を基本と考えるが、現状の取組み状況と課題は何か。</p>		

通告順位	3	通告者	3番 田 添 有 喜 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 防犯対策について</p> <p>コロナ禍の中ではあるが、近年町内では他県ナンバーの車が多く見られるようになっている。また、深夜に暴走する車やバイクも見られる。</p> <p>観光を掲げている町として避けて通れない課題と思うが、今後高齢化も一層進み一人暮らしの方が増えることも考えられる中、何らかの対策を講じる必要性を感じる。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 令和元年度に、防犯対策として公用車60台にドライブレコーダーを搭載されている。搭載後の活用状況はどのようになっているか。</p> <p>また、その効果は。</p> <p>(2) 県外からの人の流れや暴走運転をする車などが見られる状況から防犯カメラの設置について前向きに取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 近年、情報化が進み、スマートフォンなどで簡単に情報が拡散できる時代になっている。</p> <p>そこで、防犯の視点から児童の登下校時の名札着用を禁止している県や市・町がある。本町では、今後どのような取り組みを考えているか。</p> <p>2. 町道及び県道の安全整備について</p> <p>安心・安全な町づくりの視点から町内の県道及び町道の状況を調査した。その際、いくつかの箇所対策の必要性を感じた。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 「自転車通行可」の標識の整備・設置について、「自転車通行可」の標識の設置がなされていない箇所がある。例えば、キャノン前交差点から村木の交差点区間である。</p> <p>また、自転車利用者にとって不都合な区間もある。例えば、県道1号線レストランジャンボ前通りから中学校入口前区間や田ノ頭のしだれ桜前の交差点などである。</p> <p>早急に標識等の設置などを行う必要があると思うがどうか。</p> <p>(2) 町道の「ヘルシーウォークコース」の整備が必要と思うがどうか。</p> <p>併せて、長期的展望に立って、山角橋から乙長野（改善センター）間の道路拡幅を行うべきだと思うがどうか。</p> <p>(3) 通学路の整備と変更について、現状を踏まえ検討が必要と考えるがどうか。（協和、長野、稗木場の自転車通学生が対象）</p> <p>(4) 道路陥没箇所の早期対応は、どのように考えているか。</p> <p>(5) 下波佐見郵便局の利用の際、見通しが悪く危険であるという住民からの声を聞く。今後、何らかの対策を考えているか。</p>		

(6) 安心安全まちづくり事業として、各自治会より要望があった「交通安全施設」について、取り組み状況はどうか。

(7) 山角交差点の点滅式信号機の撤去が考えられているが、安全対策について、町はどのように考えているか。

3. 河川整備について

県は、早々に村木川の河川浚渫工事を行っている。また、町も河川整備を行う計画があり、予算化も図られている。

そこで、次のことを問う。

(1) 平成9年に河川法が改正され、浚渫工事を行う時には、生態系に配慮した施工を行うことになっている。

河川環境保全に取り組まれている団体は、県北振興局へ浚渫工事の在り方について要望書を提出されている。

このことを考えると、河川整備として緊急に取り組む内容は、浚渫工事より、樹木（ヤナギ）の伐採を優先すべきと考えるがどうか。

通告順位	4	通告者	5番 福田勝也 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 県立波佐見高等学校の支援策について</p> <p>近年の少子化問題や、高校生への授業料の助成などで私立高校に進学する生徒の増加に伴い、県立高校への進学が減少し、定数割れの高校が多く見受けられる。</p> <p>本町にある波佐見高校においても例外ではなく、以前の半数程度の生徒数となっており、今後、このような状態が続くと統廃合が危惧される。</p> <p>(1) 本町において、地元波佐見高校の存在、存続についてどのように考えるか。</p> <p>(2) 波佐見高校を存続するために、町としてどのような支援ができるか。</p> <p>(3) 波佐見高校の美術工芸科は、県内でも唯一の専科であり、これまで多数の作品において、優秀な成績を収められている。</p> <p>本町の地場産業である窯業界でも、美術工芸科の生徒は、必要とされる人材である。</p> <p>町として何らかの支援はできないか。</p> <p>(4) 波佐見高校野球部は、春1回、夏3回の甲子園出場を果たし、町民皆さんに元気と感動を与えてくれた。</p> <p>これまで以上に、野球部が活躍し、甲子園に出場するために支援はできないか。</p>		

通告順位	5	通 告 者	6 番 城 後 光 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 役場新庁舎建設実施設計について</p> <p>令和6年の共用開始に向けて、役場新庁舎建設計画が進められている。 現在、実施設計がまとめられているが、基本設計と実施設計において別事業者が担われている。</p> <p>(1) 基本設計と実施設計において、大きく設計図面が変わっている要因は。 (2) 地域防災拠点として、大規模災害時、町民の一時避難場所の活用計画はあるか。 (3) 改修し活用する方針である既存庁舎の利用期間は、どの程度を想定しているのか。 (4) 人口減少、行政ニーズの変化に伴う、組織改編への対応は十分考慮されているか。</p> <p>2. 子ども数が減少する状況における教育環境整備について</p> <p>国の将来推計人口によれば、本町の0歳から14歳までの年少人口は、2015年から20年間で、約20%減少すると予測されている。 (国立社会保障・人口問題研究所2018年まとめ)</p> <p>加えて、宅地開発により、若年世帯が少ない地区と多い地区の格差も大きくなっている。</p> <p>(1) 小学校校区設定にあたり、考慮する事項にはどんなポイントがあるか。 (2) 年少人口の増減に地域格差が顕著になる中、学校規模適正化指針を作成する考えはあるか。 (3) ICT活用の進展、個別最適・協働的な学びの充実のため、あるべき学校像は。 (4) 来年度から実施される教科担任制導入は、学校規模の違いで教育格差が生じないか。</p>		

通告順位	6	通 告 者	1 2 番 今 井 泰 照 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 防災行政について</p> <p>(1) 全国的に地域の防災を支える消防団員の減少傾向に歯止めがかからない。 そのような中、総務省消防庁は4月に消火活動や災害救助に従事した消防団員に支払う手当を「出動報酬」と位置付け1日当たり8,000円を標準額とするよう全国の自治体に通知した。 また、一般団員の「年額報酬」の標準額は36,500円とし、報酬はいずれも団員個人に自治体が直接支給するよう求めた。 減少傾向にある団員確保に向けた待遇改善の一環で国からの交付税に算入されるが、本町では今後の方針はどう考えるか。</p> <p>(2) 防災無線について、自治会加入世帯に対しては、おおむね配布され運用されている。 先般の総務文教委員会の折、未加入世帯には配布がされていないところもあるとのことだった。 予算では、町内すべての世帯に配布するとなっている。 未加入世帯でも必要とするところには、配布できるよう施策を図るべきではないか。</p> <p>2. 新型コロナ対策について</p> <p>(1) 本町において、コロナワクチン接種は町内医療機関や自治会の協力により県下でもいち早く進められている。 実施予定としては、7月8日まであがっているが、町内対象者の接種が終了するのはいつ頃を予定しているのか。 また、今後のスケジュールはどうなっているのか。</p> <p>(2) 河野行政改革担当大臣は、ワクチン接種に関し「早く進む市区町村から、ペースを維持するためにモデルナで打ちたいという要望がある」と述べ、市区町村が今後新たに会場を設置・運営をすれば、モデルナ製ワクチンを供給する意向を示した。 モデルナ製ワクチン接種について、どのように考えるか。</p> <p>(3) 町内医療機関においての個別接種は、どのように進めるのか。</p>		

3. 教育行政について

(1) 本町の奨学金条例は昭和31年から施行され、平成28年には美術系大学での修学を希望する者に対し、ものづくり奨学金条例が施行された。

以前からある奨学金については、利用する人がほとんどいないとのことである。

佐々町や小値賀町においては、大学入学準備金として30万円を佐々町は給付、小値賀町は貸与する制度がある。

本町でも考えられないか。

以前質問したが、ものづくり奨学金のように町内定住による債務の一部減額は考えられないか。

また、コロナ禍により修学にあたり経済面で厳しい学生への支援はできないか。

(2) 本年度より児童・生徒にタブレットが配布されるが、当初予算に計上されているWi-Fiがない世帯への環境の整備は、どのようになっているのか。

(3) 昨年度の当初予算に計上されていた各学校への防犯カメラの設置は、繰越明許費として計上されている。

児童・生徒の安全対策として早急に設置するべきではないか。

通告順位	7	通告者	1番 澤田昭則 議員
質問事項及び要旨	<p>1. ふるさとづくり応援基金活用事業について</p> <p>本町の令和2年度ふるさとづくり応援寄附金（ふるさと納税）は、約66,600件、約17億6千万円であった。この寄附金を活用し、今後も波佐見らしさを発揮した、元気なまちづくりのための事業が計画されている。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で低迷した町内の消費が好転するように、プレミアム商品券が販売される。販売期間後の商品券の追加販売は、昨年とは違い、実施を予定されていないとのことだが、条件付きで低所得世帯や大家族世帯などへ限定して販売はできないか。</p> <p>(2) コロナ禍で外出自粛が求められる中、読書は安らぎと新たな目標を与えてくれるため、愛好者が増加している。</p> <p>図書館図書充実ということで図書購入事業が予定されている。本町の図書館は身近で便利に利用できるが、更に大村市にある長崎県立長崎図書館の利用促進のために、送迎シャトルバスを年に何回か運行できないか。</p> <p>(3) 本町では、地元食材を提供する機会を増やす地産地消推進事業が継続的に実施されている。また現在、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が導入され、学校と地域住民などが力を合わせて「地域とともにある学校づくり」を行っており、各小学校の運営協議会においては、各長寿会（老人会）も参加されている。</p> <p>コロナ禍での各種行事の中止や運動会の来賓なしでの開催という実情を踏まえ、地域との接点や交流を保つためにも、感染防止策を講じながら長寿会の方を少人数制で給食に招待することはできないか。</p> <p>(4) 道路改良や老朽化に伴う公園施設の補修整備にあたり、新しい町並み整備事業の一つにやきもの公園の改良を提案する。</p> <p>現在、コロナ禍で生活様式や社会が変化しており、自粛生活で体力低下が懸念されている中、最近では足腰強化のために散歩などをされる方が各所で見受けられる。</p> <p>やきもの公園は陶器まつり開催の主要拠点ではあるが、社会状況を踏まえ、更に後を見据えて、公園内の道路を縦貫線バイパス道路まで延長し、また奥にある庭園公園を、町民が利用しやすく健康増進につながる運動公園などにリニューアルすることはできないか。</p>		

また、観光と窯業の販路拡大を視野に入れ、陶芸の館や陶器まつり開催など色々な利用が可能な公園に再整備できないか。

2. 新型コロナ対策について

変異株等で感染拡大の状況は、厳しく外出自粛が求められている。

水道利用者の負担軽減のため、上水道の基本料金3か月分を全戸減免できないか。

通告順位	8	通 告 者	2 番 岡 村 真由美 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 地域おこし協力隊制度について</p> <p>(1) これまでの隊員数とその期間、成果と課題、今後の予定は。</p> <p>(2) 多くの自治体に「まちづくり協議会」が作られているが、本町ではどうか。</p> <p>(3) 五島市奈留島の「奈留しまなび協議会」は「しまなび舎」を建設し、離島留学生の受け入れも始めた。</p> <p>この寮や教育プログラムの運営は、4人の地域おこし協力隊員が担っている。</p> <p>こうした取り組みを本町でも行うことはできないか。</p> <p>2. 防災対策について</p> <p>(1) 5月に実施した町内危険個所の点検の総括は。</p> <p>(2) 「改正災害対策基本法」に基づく個別避難計画作成の進捗状況は。</p> <p>(3) 豪雨災害が予想される時の、町内3つの避難所に収容できる人数は。</p> <p>(4) 防災避難用の備蓄品の数は、何人分、何日分を想定しているか。</p>		

通告順位	9	通 告 者	10番 脇坂正孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 新庁舎の建設について</p> <p>新庁舎の建設に向け作業が進んでいるが、総事業費は令和2年8月時の18億4千万円から3年4月には、22億4百万円に大幅な増額である。</p> <p>(1) 総事業費増額の要因は何か。</p> <p>(2) 総事業費の減額はできないか。</p> <p>(3) 十八親和銀行波佐見支店が新館の使用を検討され、断念されたと聞く。 決定であるなら、新館は新庁舎と関連させて、規模や配置を再度見直すべきであると思うがどうか。</p> <p>(4) 新館の活用として、議会関連施設等を残し、新庁舎の面積を減らすことで、総事業費の減額はできないか。</p> <p>(5) 教育委員会事務局を新庁舎へ移転計画しているが、関係者の理解は得られるのか。</p> <p>(6) 町内産業活性化のため、町内産の木材や陶磁器を利活用できないか。</p> <p>2. 森林経営管理制度について</p> <p>「森林経営管理法」(新たな森林管理システム)が、平成31年4月に施行された。森林の多面的機能の発揮と林業の成長産業化に向け期待される。</p> <p>(1) この制度の対象となる森林はどのような森林か。 また、面積は。</p> <p>(2) 各地区の実施計画は。</p> <p>(3) 所有者不明森林や境界不明森林の対応はどうするのか。</p> <p>(4) 町で受託した森林を林業経営者に再委託するとあるが、具体的にはどうするのか。</p> <p>(5) 町で受託した森林が、林業経営に適さない場合は町で管理となるが、どのようにして管理するのか。 また、その費用負担は。</p> <p>(6) この制度の本町におけるメリット、デメリットはどう考えるか。</p>		

通告順位	10	通告者	8番 三石 孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 防災対策について 避難所における備蓄物は十分確保してあるか。</p> <p>2. 農業政策について (1) 農業担い手育成の現状と今後のプランはどうか。 (2) 駄野地区圃場整備の現状と今後の活用プランはどうか。</p> <p>3. 波佐見町事業継続支援給付金制度について (1) 申請件数が想定件数より大幅に少ないと聞く、どのように分析しているか。 (2) 今後どのような対策をとるのか。</p>		